

## 第3回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

1	委員会名	安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会
2	日時	平成22年3月26日(金) 午後3時～4時30分
3	会場	堀金総合支所 301会議室
4	出席者	宮澤会長(市長)、奥山委員、山岸委員(代)、岡沢委員(代)、竹村委員(代)、藤倉委員 甕委員、川上委員、松田委員、小平委員、小林委員、大月委員(代)、宮崎委員 曲淵委員、小岩井委員、耳塚委員、山口委員(代)、小山委員、遠藤委員、勝野委員(代) 二木委員、久保田委員 松本市役所：寺沢交通政策課長、小林係長、堀内係長 事務局：小倉、高嶋、野口、NTT4名
5	公開・非公開の別	公開
6	記者	2人
7	傍聴	0人
8	会議概要作成年月日	平成22年4月7日

協 議 事 項 等

◎ 会議次第

- 開会 (事務局小倉)
- あいさつ (宮澤会長)
- 議事
  - 松本市四賀地域公共交通総合連携計画について
  - 平成22年度地域公共交通協議会事業計画及び予算について
  - 観光交通体系について
- 報告 (事務局小倉)
  - 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について
  - 第2回あづみん利用実態調査結果について
- その他
  - 平成22年度の委員の選任等について
  - 上田線の開設予定について
- 閉会

◎ 協議概要

安曇野市地域公共交通会議設置要項第6条及び安曇野市地域公共交通協議会規約第13条2項に基づき、会長が議事進行を行う。

◎ 議事

(1) 松本市四賀地域公共交通総合連携計画について

【事務局説明】・・・資料1

- 地域公共交通総合連携計画は、市町村が単独あるいは共同で市町村区域を範囲として、公共交通の活性化を図るために計画を立てるものである。松本市四賀地区において、この区域の中に安曇野市の一部を加えて計画を立てたいと、松本市から依頼があった。
- この計画については、協議後に、正式な案として国土交通省へ提出をする予定である。
- 松本市四賀地区は、安曇野市に接し関係が深い。また、バス路線として松本市街地に向かう途中で豊科大口沢区を通過する「四賀線」、および明科駅と接続している「会田線」があり、安曇野市と関連が深い。
- 事業の概要としては、①四賀地域と松本市街地方面を接続する公共交通を確保するための事業②四賀地域の移動を担保する公共交通を確保するための事業③公共交通の利便性を向上させるための事業④住民の公共交通に対する理解や協力する意識を醸成するための事業である。な

お、いまのところ松本市四賀地区への地域デマンド交通等の拡大運用は検討されていない。

- ・松本市役所交通政策課の寺沢課長より補足説明。

会長：ただ今の提案に対し、質疑等あったら出していただきたい。

異議なしと認めます。

次に、平成 22 年度地域公共交通協議会事業計画及び予算について説明を求める。

(2) 平成 22 年度地域公共交通協議会事業計画及び予算について

【事務局説明】・・・資料 2

- ・事業計画については、6 項目とする。

(1) 乗合タクシー「あづみん（定時定刻線を含む）」の実証運行

(2) 乗合タクシー「あづみん」の検証

（本格運行に向けて平成 20 年度～平成 22 年度までの 3 年間の検証）

(3) 乗合タクシー「あづみん」の利用拡大・利用促進

(4) 観光客対応や市外移動に関する交通支援策等についての検討と検証

(5) 観光や公共交通サービス等に関する情報提供

(6) その他安曇野市地域公共交通総合連携計画推進に関する事業

- ・平成 22 年度予算について

収入の部では、安曇野市からの負担金を 80,800 千円。補助金として、3 ヶ年目になる地域公共交通活性化・再生総合事業補助金の収入を予定しているが、諸条件等が難しく不確定の為 1 千円とする。その他として諸収入で 1 千円を計上した。平成 22 年度の収入として合計 80,802 千円を計上した。なお、安曇野市からの負担金 80,800 千円については、平成 22 年 3 月に開催された議会にて議決を受けている。

支出の部については、主なものは事業費中の実証運行費 74,800 千円と計画推進費 4,195 千円、その他の科目として協議会の運営費・事務費等を含めて平成 22 年度の支出合計を 80,802 千円とする。

会長：ただ今の提案に対し、質疑等あったら出していただきたい。

よろしければ、承認のため拍手をお願いする。

異議なしと認め、予算については、原案どおり決定する。

次に観光交通体系について説明を求める。

(3) 観光交通体系について

【事務局説明】・・・資料 3、資料 3・追加資料

- ・安曇野市の観光振興を図るために、観光に関する公共交通をどうするか平成 20 年度から検討した中で体系化した。

- ・安曇野市は、多くの観光客を受け入れている中で、地域内の移動手段としての交通網を観光客に提供する必要がある。安曇野市を訪れる観光客の約 1 割程度が電車であり、電車で訪れる観光客への公共交通は駅から提供する必要がある。

- ・車で安曇野市を訪れる観光客に対しても、自家用車のままでは短期の滞在となるので、穂高駐車場を活用したパークアンドライド方式にて公共の交通手段に乗り換えてもらい、ゆっくり市内の観光を楽しんでもらうことが重要である。

- ・安曇野市の体系としては、「あづみ野周遊バス」、「安曇野発着ツアー」、「安曇野タクシーツアー」、「観光ガイドタクシー」の 4 つを主な柱としている。その他としては、登山客向けの「中房線バス」を提供する。

- ・周遊バスも、ツアーもそれぞれ、「旅行の自由度」、「運賃・料金」、「輸送人員」などに長所と短所があり、複数の選択肢の中から、観光客に選んでもらうことが重要である。

- ・「あづみ野周遊バス」は、主に穂高地域を中心に既に運行をしているが、改良点として 5 つ掲げている。

① 割引きや粗品の提供などのクーポン券付周遊フリーパスの創設

② 穂高総合支所駐車場の一部開放によるパークアンドライド

③ 全区間フリー乗降車可能

④ 観光客の移動時間・JR時刻表に合わせたダイヤ設定

⑤ 運行順路の変更、一部ルートの変更を通じた渋滞の回避、時間の短縮

なお、「あづみ野周遊バス」は市観光協会の委託により市内タクシー会社が運行する。

- ・「安曇野発着ツアー」のツアー募集・催行については市内観光協会が実施。特に宿泊客向けとなっている。
- ・「安曇野タクシーツアー」は観光ルート別運行による少人数向けの割安ツアーとなっている。運行は、市内のタクシー事業者が行う。
- ・「観光ガイドタクシー」は長野県の推進事業である。運行は、市内のタクシー事業者が行う。
- ・「中房線バス」については、穂高総合支所駐車場の確保によるパークアンドライド方式による利用者の利便性の向上を図る。また、上田駅と安曇野市を結ぶ上田線との連携によって北関東方面からの登山客誘客活動を充実する。運行は、市内のタクシー事業者が行う。
- ・このような施策により、日帰り・通過型観光から滞在型観光への転換により、地域の観光の活性化を図る。

会長：ただ今の提案に対し、質疑等あったらだしていただきたい。

小山委員：「中房線バス」に関連する件の要望である。夏山繁忙期に登山客が常念岳を目指す場合に、堀金一の沢ルートでも直接常念に登ることができるかと勘違いをするケースがある。確かに蝶ヶ岳からの縦走で常念岳に行くことができるが案内看板等について整備してほしい。

事務局：担当の市観光課に連絡をしたい。

会長：他のご意見は。

松田委員：「安曇野タクシーツアー」についての質問である。観光ルート別運行の事務局案には、三郷地域のルートが設定されていない。例えば、アルコール類の試飲などにより宿泊してもらうことも検討してほしい。

事務局：本日提案したのは案であり、今後個別のルートについては検討を続ける。

耳塚委員：補足説明ですが、観光ルート別運行の認可は起点と終点が明確になっていなければならぬなど条件が厳しいことが1つ。また、三郷地域の観光資源としてはリンゴ狩りなどが考えられるが、季節性があるため特定の期間のみの取り扱いでルートに組み込めなかった。

会長：ただ今の提案に対しは、難しい点もありますが今後の取り組みの中で検討してください。

他のご意見は。

宮崎委員：平成22年10月から12月までJRのディスティネーションキャンペーンが開催される。「あづみ野周遊バス」については10月までに終了する予定となっているが、JRのキャンペーンとの連携を図ってはどうか。

事務局：平成22年につきましては、JRのディスティネーションキャンペーンとの連携のために、11月から12月までは「あづみ野周遊バス」を市の委託により運行する予定である。

会長：他のご意見は。

それでは、ただ今の原案については、ご承認いただけるということでもよろしいでしょうか。ご承認いただけたものとしたい。

なお、観光交通に関しては丸山幹事長をはじめ作業部会の皆様方に2年間にわたって検討いただき感謝申し上げます。

また、安曇野市としても、観光振興は大きな目標であり、平成22年4月から商工観光部を新設する。ただいま、承認いただきました観光交通施策により関係団体と連携をとりながら市の観光振興を図っていきたく思っている。

次に報告の事項に移します。(1) 地域公共交通活性化・再生総合事業に係る事後評価について事務局より説明を求めます。

## 【報告】

事務局：「あづみん」等の実証運行については、国土交通省から地域公共交通活性化・再生総合事業という補助金を受けて運行している。補助金を受けている関係で、本当にその事業に効果があるのか評価を実施した。1次評価は市による自己評価、2次評価は国による評価である。国による2次評価については事業の自立性・持続性に関して指摘があった。現時点では「あづみん」利用率の目標値を達成状況がほぼ前年度並みとなっていることについてであった。平成22年

度では積極的なPR活動を実施し、更なる利用の拡大を図る。

また、観光交通については、今回の地域公共交通協議会の承認を受けた事業計画により平成22年度に運行しながら検証を重る。

会長：ただ今の報告についてご質問・ご意見等をお願いしたい。

それでは、次に報告に移る。(2)第2回あづみん利用実態調査結果について事務局より説明を求めます。

事務局：あづみん「定時定路線」アンケートの総評は、①運行されて2年が経つが、利用者の大半が当初から日常的に、往復で利用している。新しい利用者も除々に確実に増えている。②運行にあたってはほとんどが良かったという意見である。③不満な意見としては、運行日時が足りない、待ち時間が長い、電車との接続が不便、朝の予約がつながりにくい、乗り継ぎが不便等である。今後は改善できる点については改善を図るが、現在運行している車の増加は難しいと考えている。

会長：ただ今の報告についてご質問・ご意見等をお願いしたい。

甕委員：予約がとれない状況があると聞いているが。

事務局：現在、午前9時から午前10時にかけて予約が集中してしまう時間帯がある。予約受付センターではピーク時で7人の体制で対応している。

小山委員：3月市議会では、デマンドの車両は現状維持ということで決定したのか。

事務局：特に決定ということにはなっていない。

小山委員：増車については、タクシー乗務員の現状を考えていただき、慎重な対応をお願いしたい。

事務局：現在、市としては14台で運行しているが、増便や増車ということは基本的に考えていない。ただ今タクシー業界の皆様からご要望があったとおり、これ以上増車すると官業が民業を圧迫してしまうことになり、役割分担が必要である。

会長：ただ今の報告についてご質問・ご意見等ありますか。

それでは、その他の事項に移ります。平成22年度の委員の選任等について事務局から説明を求めます。

事務局：皆様にご協力いただき会議の運営をしてきたが、委員の任期が1年となっている。そこで、来年度の委員を推薦いただきたい。事務局としては、引き続き委員に携わっていただきたいが、各団体の都合もあり変更になる場合もあると思うので、推薦書にて事務局に推薦いただきたい。平成22年度はあづみんの総まとめとなるので、今までの経過を知っている委員に引き続き携わっていただきたい。

会長：ただ今の説明についてご質問・ご意見等をお願いしたい。

本事業も3ヵ年の最終年となる。システム全体を検証する重要な時期になるので可能な限り委員の皆様には引き続き引き受けていただきたい。

また、協議会の監事については、設立当初から松本地方事務所副所長及び安曇野市商工会会長にお願いしているので、委員の皆様よりご異議がなければ、引き続き引き受けていただきたいと思います。

ご異議がないようなので、引き続き監事をお願いしたい。

それでは、上田線について事務局から説明を求めます。

事務局：上田線については、11月の協議会で承認を受け、運行の準備を重ねてきた。市内のタクシー事業者4社全てが上田線に参加することになり、運行日がある程度確定できる段階になった。当初4月の計画だったが、5月1日運行開始予定になった。現在、運輸局に認可申請を出しており、5月1日には運行開始予定である。

上田線は、1日5便の運行により長野新幹線と安曇野市を結び、市内のビジネスマンの利便性や北関東からの観光客の誘客が見込める路線である。

会長：ただいまの報告について何か質問事項があれば出していただきたい。

特に質問がないので、以上で議題が終了になるが、その他にご質問があればお願いしたい。

小山委員：穂高周遊バスの駐車場は、穂高神社の南側の駐車場ということか。

事務局：そのとおりである。

小岩井委員：周遊バス・中房線の使用車両について、本来乗り合い事業に使用する車は乗り合い専用でなければならないが、私ども運行事業者は貸し切り用の車両しか所有していない。ただし、地域公共交通会議での承認があれば貸し切り用の車両でも運行できるので、委員の皆様方の承認をいただきたい。

事務局：認可申請を取得するにあたり、地域公共交通会議での承認があれば円滑に承認がなされるということである。

山岸委員：北陸信越運輸局としては、地域公共交通会議で協議していただければ結構である。

会長：それでは、再確認ということで、周遊バス・中房線の使用車両について、貸し切り用の車両でも良とすることに異議はあるか。

なければ、異議なく賛同いただいた。

その他に意見があったらお願いしたい。

それでは、ないようなので、これにて議事を終了したい。貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。